

**出席者**

学校運営協議会委員

御殿場市役所 富士岡支所長 (CO)	坂上 剛 様 (欠席)
前小山教育長	高橋 正彦 様
トヨタ自動車(株) 東富士研究所管理部	細井 敏光 様
就労継続支援B型事業所 理事長	根上 豊子 様 (欠席)
御殿場市役所 危機管理課	中村 信雄 様
高内地区区長	小林 昌平 様
本校PTA委員	鈴木 里美 様 (欠席)
富士山噴火対応説明 御殿場市危機管理課	山口 雅弘 様
本校校長、副校長 (司会)、教頭、事務長 各学部主事、教務課長、連携課長	計 14 名

○富士山火山噴火の際の避難について (御殿場市危機管理課 山口雅弘様)

- 1 富士山噴火時に考えられる現象
- 2 溶岩流・融雪型火山泥流、降灰の影響範囲と避難計画の概要
- 3 避難促進施設への指定及び避難確保計画の作成

<質問>

高橋：御殿場特別支援学校の児童生徒は「要支援者」に入るのか。

山口：「要支援者」に入る。

高橋：第4次避難対象エリアが避難対象となった場合は、家にいるという想定でよいか。

山口：よい。

計画の要支援者数は、福祉関係で調査する要支援者名簿に掲載の人数。学校単位ではなく、住んでいる地域によって対象となる。

高橋：御殿場特支は県立学校だが、災害時に市からどの程度の情報をもらえるのか。

山口：市内の各家庭に貸与されている個別受信機が、学校にも設置してある。ホームページや防災アプリ等でも確認できる。

高橋：事前に噴火に関する情報が出ている場合はいいが、突然の噴火（富士山では想定されていないが）の際に、学校側が情報を得たい場合、市の連絡先はどこになるのか。市立の学校では学校間で連絡を取り合えるが、県立学校は県とのやりとりになるのが懸念。

山口：その場合は市教委ではないので…危機管理課となる。



<各施設や地区での災害時の対応について情報交換>

地震⇒地震発生からの対応を想定。

噴火⇒噴火の兆候をとらえてから、噴火までの対応が可能。

想定	トヨタ	高内地区	御殿場特支
レベル1	従業員個々に支給 ・ヘルメット ・保護メガネ ・粉塵用マスク ・笛 工場として備蓄 ・ブルーシート (建屋に灰が入るのを防ぎたいが、使用方法は検討中。)	各区の防災部長が各家庭の避難対策を確認。 要支援者や高齢者に対する援護者の人員確認。	・ヘルメット ・保護メガネ (児童生徒分) ・粉塵用マスク (児童生徒分)
レベル2 解説情報 (臨時)			
レベル3	操業停止・帰宅指示 (子どもの引き渡しが始まり、人手が減少するため。)	防災組織の各戸の確認。 レベル4に対応可能な体制を準備。	避難後、家庭に引き渡し。 学区が広いとため、自家用車での引き渡しを想定。

山口：他企業でも、トヨタと同様にレベル3で業務停止、帰宅指示を考えるといていた企業ではレベル3の段階がラインとなる。

各区ではレベル3で本部を立ち上げ、防災体制となる。

また、要支援者は、一律に市の施設ではなく、個別避難計画に基づいて親戚や知人宅に避難する人がいることも想定しておいてほしい。

噴火では、まず小さな噴石が飛んでくるので屋内退避が原則。

御特の校舎は耐震性1Aで、地震にも強い。第4次避難対象エリアにはなるが、ドリルマップでは被害想定がないため、かなり安全な場所であり、福祉避難所としての覚書も交わしている。学校が児童生徒の避難場所として個別避難計画に書かれている可能性もある。避難前に噴火が始まったら安全な場所である学校にとどまり、家族が合流した後、学校に避難してくる可能性もある。

中村：災害時には備蓄品にブルーシートがあるとよい。噴石、ガラス片からの保護に使えるし、行動予測が難しい生徒が多いため、危険個所の防護にも使える。また、噴火前からの降灰でライフラインの停止を想定した対策をしておきたい。発電機や室外機の保護等も対策が必要。

学区が広いので、解説情報（臨時）の時点で帰宅させた方がよい児童生徒も多いのではないかと。どの時点で避難させるかは家庭とも相談して、個々の児童生徒で考えた方がよいかもしれない。一律にレベル3では、市内の全家庭が動くので、渋滞の可能性も考えられる。帰宅しきれない可能性も考える必要がある。

吉澤：噴火前の備えと動きが大切。御特にはヘルメットや保護メガネはあるが、ブルーシートや降灰後の片付けに必要なスコップ等は少ない。備蓄品の見直しも考えたい。

高橋：地震等の災害と違い、火山噴火の避難の最終決断は各学校で行うよう、文科省からも言われている。レベル3前の一律避難も考えてよいと思う。また、最悪の状態（事前情報のない噴火で危険が迫っている）を考えて、どういうルートでどう逃がすのか、家庭とどう連絡をつけるか、その判断のためにシミュレーションが有用となる。よく言われるのは、体育館は30センチの降灰で、灰の重さで屋根が保たなくなるということ。避難は校舎内がよい。

#### ○各部主事より、御特祭紹介

#### ○高等部2年生「総合的な探究の時間」の発表

##### ・発表



・グループごと防災について調べたことや体験したことをまとめ、発表しました。

##### ・講評、意見交換



・発表を聞いた運営委員の皆さんと発表や防災についての意見交換を行いました。